

令和2年度下水道事業の経営方針及び予算の概要

1 事業の経営方針

下水道事業を長期的な視点で見ると、人口減少等による使用料収入の減少や、耐用年数を迎える下水道施設が増加することにより施設の改築更新及び維持管理に多額の費用が見込まれます。そのような環境下においても、住民生活に必要不可欠である下水道事業を将来にわたり安定してサービス提供していくことが求められています。

小金井市下水道事業では、経営状況や資産の状況を的確に把握するため、令和2年度から地方公営企業法の財務規定を適用しました。

市民が安心して快適な生活を営めるよう、良好な生活環境の維持と公共用水域の水質保全のため、より一層の経営の健全化に努めます。

2 予算の概要

(1) 収益的収支の状況

収益的収支の予算には、当該年度の企業の経営活動に伴い発生すると予定されるすべての収益とそれに対応する費用を計上しています。

(単位：千円)

収 入				支 出			
区 分	令和2年度	令和元年度	増減額	区 分	令和2年度	令和元年度	増減額
営業収益	1,608,046	—	—	営業費用	1,924,066	—	—
下水道使用料	1,087,328	—	—	管きよ費	172,632	—	—
雨水処理負担金	520,105	—	—	流域下水道管理費	708,251	—	—
その他営業収益	613	—	—	業務費	177,080	—	—
営業外収益	477,031	—	—	総係費	94,724	—	—
他会計補助金	22,407	—	—	減価償却費	771,379	—	—
補助金	17,850	—	—	営業外費用	40,962	—	—
長期前受金戻入	436,643	—	—	支払利息及び企業債取扱諸費	25,459	—	—
雑収益	131	—	—	消費税及び地方消費税	15,503	—	—
				特別損失	12,665	—	—
				その他特別損失	12,665	—	—
				予備費	10,000	—	—
				予備費	10,000	—	—
合 計	2,085,077	—	—	合 計	1,987,693	—	—

(2) 資本的収支の状況

資本的収支の予算には、諸施設の整備、拡充等の建設改良費とこれに要する資金の企業債収入やその元金償還等を計上しています。

(単位：千円)

収 入				支 出			
区 分	令和2年度	令和元年度	増減額	区 分	令和2年度	令和元年度	増減額
企業債	68,000	—	—	建設改良費	247,314	—	—
下水道事業債	68,000	—	—	管きよ建設改良費	209,568	—	—
他会計負担金	1,548	—	—	流域下水道建設費	37,746	—	—
他会計負担金	1,548	—	—	企業債償還金	92,002	—	—
				建設企業債元金償還金	92,002	—	—
				予備費	10,000	—	—
				予備費	10,000	—	—
合 計	69,548	—	—	合 計	349,316	—	—

※ 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額2億7,976万8千円は、当年度分損益勘定留保資金（収益的収支のうち現金支出を要しない減価償却費等から現金収入を伴わない長期前受金戻入等を差し引いた額）で、全額補填します。